

主な修正箇所

NO	頁		箇所	項目
①	2	下	はじめに 最終段落	「「発足当初期」及び」を付加
②	3	上	1. センターの目的と制度 設計	「予算、権限を背景とした」 →「権限、予算を背景とした」（以下、同様の修正）
③	4	中	2. 再就職支援の対象となる 職員の範囲 (3) 再就職支援	「なお、現在は」以下を削除
④	5	中	3. センターの機能	「ただし、国家公務員の優遇と国民から見られない運用ルールを設ける必要がある。」を付加
⑤	5	中	3. センターの機能 (1) 官から民への再就職支援機能 ①登録機能	「各府省もセンターの求めに応じ、積極的に人材情報を提供することとする」を付加
⑥	7	中	3. センターの機能 (2) 民から官への就職支援機能	「民と官との間の垣根を下げ、官から民だけではなく、民から官へも自由に行き来できるような環境整備が必要であり、これはセンターのみならず、政府、民間など社会全体で検討すべき課題である。例えば、官民双方の幹部候補生については、若い時期の官民相互の人事交流経験をキャリアパスや人事評価に組み入れるなどの方策が考えられる。」を付加
⑦	7	下	同上	「公務を経験した民間出身者及び公務から民間に転じた者についてのデータベースの構築」 →「公務に従事することを希望する者についてのデータベースの構築」
⑧	10	上	5. 公正性・効率性確保のためのルール (6) コンプライアンス機能	「上記のようなルールを策定するほか、外部の専門家の参画を得たコンプライアンス機能を設けることにより、ルールの遵守を確保するとともに」 →「上記のようなルールを策定するほか、法令等遵守調査室を設置して外部の専門家を登用し、上記のルールの遵守状況、情報公開及びトレーサビリティ等について、民間企業と同様に定期的に活動状況を監査し、センター長に直接報告できるようにすべきである。」
⑨	10	中	6. 工程 (2) センターのあり方の見直し	「本報告書の「はじめに」に記載された設計理念に沿い、」を付加